

ネパール経済ニュース (17年3月) ヘッドライン

経 済	
産業 エネルギー インフラ	<p>(1) 12日、ウェスト・セティ水力発電プロジェクトに関し、中国側のJV企業であるChina Three Gorges Corporation (CTGC) は、河川の流量が不十分であることを理由に750MWから600MWに発電容量を変更することを提言していたが、ネパール電力公社は十分な電力提供は国家的課題であるとして、その提案を却下した。</p> <p>(2) 17日、シタラム・ポカレル・ネパール石油公社(NOC) 広報担当は、6日にサブタリ郡でUDMF関係者が治安当局に銃殺されたことを受け、燃料供給の不安に駆られたカトマンズ市民が、8日から数日間、ガソリンスタンド等で列を成すなどして燃料を買い求めるなどの現象が見られるが、燃料は十分にインドから輸入されている旨述べた。</p> <p>(3) 18日、ネパールテレコム社は、チャイナテレコム社と5月1日から中国の帯域幅を使用できるように協議している。</p> <p>(4) 19日、ギシン・ネパール電力公社長官は、アッパー・タマコシ水力発電所をはじめ現在建設中の水力発電プロジェクトが完成することによって、3年以内に1200MWの新たな電力がネパール国内に供給されると述べた。</p> <p>(5) 20日、State Grid Cooperation of China 関係者がネパールを訪問し、ギシンNEA長官と会談し、ケルンからラスワガディまで送電線の建設に関して協議した。ギシンNEA長官は、同送電線をラスワガディからガルチ(ダディン郡)まで延長するよう要請した。</p>
金融 財政 税制	<p>(1) 21日、米経済誌フォーブスが発表した2017年の世界長者番付によると、資産総額10億ドル以上の「ビリオネア」2043人中、ビノッド・チョードリー氏が1567番目にランクインした。</p> <p>(2) 21日、ネパール貿易輸出振興センターが貿易収支を発表したところによると、2016/17年当初7ヵ月における貿易赤字が5149.9億ルピーとなり、このままでは年間約8,500億ルピーの貿易赤字になる恐れがある。</p> <p>(3) 28日、ADBは、2016/17年度の経済成長率を5.2~6.2%と予測した。これは去年より4.4~5.4ポイント高い。海外からの送金額が減少したが、モンスーンでの十分な降雨量、貿易が通常通り行われ、地震からの復興事業が進み、停電時間が減少したことなどが原因。</p> <p>(4) 28日、ADBは、2016/17年度におけるインフレ率は6%以内に抑えられると予測している。ADBカトマンズ事務所のバンダリ氏(エコノミスト)によれば、インドにおけるインフレ率の低下、供給の正常化、安定した農業生産量、抑えられた燃料及び商品価格などがネパー</p>

	<p>ルにおけるインフレ率予測の低下の理由である。</p> <p>(5) 28日、IMFは、2016/17年度の経済成長率を5.5%と予測した。</p>
貿易 投資 観光	<p>(1) 2日、ネパール産業省、投資庁、国家計画委員会共催の「ネパール投資サミット 2017」がカトマンズで開催された。同開会式にはダハール首相をはじめマハラ副首相兼財務大臣、ジョシ産業大臣、主要3政党の党首、金立群A I I B総裁等が登壇者として出席した。</p> <p>(2) 3日、ネパール訪問中の金立群A I I B総裁がマハラ副首相兼財務大臣と会談した。同会談にて、マハラ副首相は金総裁に対して、各種インフラプロジェクトへの融資の要請を行った。</p> <p>(3) 4日、3月2～3日に開催された投資サミット2017において、参加企業全体で約135.1億米ドルの投資関心表明が提出された。そのうち、中国企業は約83億米ドル、バングラデシュ企業は約24億米ドル、日本企業は約10億米ドル、英国企業は約10億米ドル、スリランカ企業は約5億米ドル、インド企業は3.17億米ドルである。</p> <p>(4) 9日、地震で被害を受けたコダリ国境ポイントにおける貿易のための基本的なインフラは再建されたが、同ポイントを通じたネパール・中国間の貿易は再開されていない。</p> <p>(5) 11日、チベット航空は、ネパール文化・観光・民間航空省に対して、成都・カトマンズ間の就航の申請を行っている。なお、チベット航空はヒマラヤン航空（中国とのJV）の株式を49%所有している。</p> <p>(6) 20日、ダハール首相の訪中時に、一帯一路構想に関する取極に署名するのではないかと噂されていたが、中国の李克強首相が同時期にオーストラリア・ニュージーランドへ外遊するため、その可能性は低いと報道された。</p>
地域経済	<p>(1) 18日、ネパール政府は、チョバル（カトマンズ郡）において国際展示会場を建設する計画を立てている。世界銀行は、同展示会場の建設のための支援に前向きである。</p> <p>(2) 19日、ネパール商工会議所連合会（FNCCI）の上級副会長選挙が4月初旬に行われる。キショル・ブラダン氏とシェカル・ゴルチャ氏が立候補している。</p> <p>(3) 22日、ゴータム・ブッダ（バイラワ）国際空港の建設に関し、2014年10月に受注した中国 Northwest Civil Aviation Airport Construction Group社は、現地下請け業者との支払い問題で工事を中断し懸念されていたが、両者間の合意が成立し、来週には再開される見込み</p>